

私が当院を選んだ理由



一年次初期研修医 江崎聖美
(山梨大学卒)

私が当院を選んだ理由は主に3つあります。1点目は、学生時代、当院の研修医の先生の姿に感銘を受けたからです。丁寧な診察、スムーズなプレゼン、上級医の先生との積極的な議論をしていただけでなく、学生の私に考える機会を与え、忙しい中でも進んで教えてくださった点が印象的でした。主体的に学び、責任感をもって働く姿、教育に対する熱心な姿勢に憧れ、私も先生方のようになりたいと思いました。

2点目は、自分の求める研修内容が整っていたことです。私は初期研修で、幅広く学び、医師人生の土台となる初期診療能力・マネジメント力を身につけたいと思っており、当院は多くの診療科を回ることができるだけでなく、総合診療・感染症科がある、三次救急体制が整っているなどの特徴があり、大変恵まれた環境だと考えました。

3点目は、柔軟な研修ができることです。当院では研修医2年目に11ヶ月の選択ができます。1年目に基礎を身につけ、2年目は専門研修につながる研修を、自ら考えて選ぶことができる点が魅力的だと思います。実際に働き始めて、他のスタッフとの距離の近さも当院の大きな魅力のひとつと感じています。

研修生活は、日々新しいことを学ぶ機会があり、不安と緊張もありますが、悩みを分かち合える同期、疑問点にじっくりつきあってくださる上級医の先生方、相談しやすく積極的に意見をくださるコメディカルの方々に恵まれ、充実した毎日です。こうしたサポートがあるだけでなく、一丸となって患者さんへ最善の医療を提供する雰囲気も満ちています。また、自分がやりたいと声をあげれば、それを実現させてくれる環境があります。手技も知識も、毎日の研修以外に、研修医向け・最先端の医療・感染症などの各種勉強会、様々な資格を取得する機会が豊富にあり、自分次第で学べることは無限大です。

当院で、一緒に実りある研修生活を送りませんか。みなさんと働くことを心より楽しみにしています。

臨床研修、どこですか、難しいですよ。正解なんて多分無いです。大学時代の部活動などでも入る前に入った後で印象が全く変わらなかった、あるいは、全て自分が思い描いた大学生活となった、という人は非常に稀だろうと思います。臨床研修も同じです。ほとんどの病院が研修システムに自信を持っています。だからこそ、自分の目でその病院が自分に合っているのかを見極めることが大切だと思います。

僕がこの病院を志望したのは、大学5年生の時、1か月間救急救命センターにて実習させていただき、先生方やコメディカルスタッフの皆さんの働いている姿を実際に拝見し、この病院の一員に加わりたと思ったからです。僕自身東京出身で、山梨には大学時代に馬術部の試合で年に数回来る程度でしかなく、なぜ山梨に来たのか？と多くの人に聞かれます。たしかに東京にも良い病院はあります。ただ、東京の大学にいた時と、この病院にいる時とは責任の感じ方が全く違います。たとえば、夜に中央道で東京から甲府へ向かう途中、突然甲府盆地が目の前に広がる場所があります。或いはフルーツ公園をはじめとする高台に登ると眼下には綺麗な夜景を目にします。ふとそうした瞬間に、目の前に広がる光ひとつひとつの下で生活を営んでいる人々のみならず、山梨県全体の住人の健康を預かる立場に自分がいるのだという思いが沸き起こることが度々あります。たくさんさんの病院がある東京では実感できない感覚だと思います。

研修医ではまだ大したことはできず、手伝い程度しかできませんが、少しでも多くのことを吸収し、早く成長し、山梨の医療に貢献できるように頑張らねばというモチベーションのもと、良い同期、良い先輩、良いコメディカルスタッフの皆さんと一緒に日々頑張っています。ぜひ、多くの良い先輩に巡り合えることを期待しています。



一年次初期研修医 児玉啓輔
(慈恵医科大学卒)



一年次初期研修医 櫻井里圭子
(山梨大学卒)

研修医生活が始まってから1年という月日が経ちました。不安いっぱいだった研修医生活でしたが、振り返ってみると豊富な症例を経験することができ非常に充実した1年間でした。この1年間の経験の中で感じた当院の魅力について、病院選びに悩んでいる医学生の方にお伝えできたらと思います。

当院での研修の魅力としてまず救急医療が挙げられると思います。県内唯一の3次救急を担う救命救急センターでの研修が3ヶ月間必修であり、日々重症外傷や重症内科疾患を経験することができます。「3次救急なんて怖い、診るのは不安だ」と思う方も多いと思います。実際私も不安な気持ちを抱きながら救命での研修に臨みました。いざ研修が始まってみると驚くことや対応に困ることも多々ありますが、上級医の先生方が熱心にわかりやすく指導して下さるので安心して研修ができ、圧倒的に成長を感じた3ヶ月間でした。また地域輪番制の2次救急では救急外来を訪れた患者さんのファーストタッチをします。研修医の仕事はすでに診断された患者さんの入院中の管理をすることが多いのですが、2次救急では外来患者に対し問診や検査をし、診断に結びつける過程を経験することができるのでとても勉強になります。

またcommon diseaseをたくさん経験できるのも市中病院ならではの魅力だと思います。当院は大学病院や都市部の病院と違い専門性は高くないかもしれませんが、逆に幅広い疾患を持つ患者さんが訪れます。病気が怪我をして病院を訪れる人々、それは都会でも田舎でも同じです。当院で2年間研修をすれば幅広く様々な症例を経験でき、医者として大幅にスキルアップできること間違いなしです。

当院は教育体制も整っており、同期にも恵まれ、上級医の先生も皆優しい方ばかりです。1年間研修してきて、他の病院にすればよかったと感じたことは一度もなく、誰もが有意義に研修できるシステムだと思います。是非一度見学にいらしてみてください。

ただいま研修中

研修を始めてから1年が経ちました。2年目となり充実した研修生活を送っています。ここで私が当院で研修することに決めた理由についてご紹介したいと思います。

第一に、大学病院と違い偏りなく様々な疾患を幅広く見ることができるという点です。また、大学で県外に出ていた私としては、地元山梨の医療体制や事情を身をもって知りたいという気持ちがありました。その点で、県内唯一の3次救急指定病院であり山梨県の最後の砦として断らない医療を実践している当院はとても魅力的でした。

第二に見学した際に研修医の方がとても生き生きとした表情で働いていたこと、指導医の先生方が指導熱心であったことにもとても魅力を感じたこの病院で研修することに決めました。

1年間実際に研修してみて、充実した研修生活を送るのにもとても良い研修病院であると感じています。研修体制が充実しており、1年目は内科、総合診療科や救急科で鍛えられた後、2年目は自由度の高い研修プログラムを自ら組むことができます。2次救急でcommon diseaseの対応、3次救急で重症患者の診療に携わることで、救急対応の基礎を学ぶことができます。上級医によるフォローもしっかりしており、2年間しっかりトレーニングを積むには恵まれた環境だと思います。出身大学の垣根は低く、医師だけでなくコメディカルも含めた病院全体で研修医を育てるという雰囲気があり、また、研修医同士で助け合ったり困ったりした時には指導医の先生方に相談しやすい環境が整っています。

もちろん研修生活は楽なことばかりではなく大変なこともありますが、しかし自分はこの病院を選んでよかったと思っています。少しでも気になる方はぜひ一度見学に来てください。皆さんと共に働けるのを楽しみにしています。



一年次初期研修医 河野敏之
(北里大学卒)

当院の初期研修医は…

当院では、多様な人々が集まってお互いに切磋琢磨できるよう、幅広く人材を募っています。

平成30年度は16名が当院で研修をスタートし、総勢36名となりました。

県外の出身者も多く、出身大学も様々です。

過去3年間の当院研修医の出身大学

- | | | |
|--------|-----------|------------|
| 山梨大学 | 鹿児島大学 | 聖マリアンナ医科大学 |
| 順天堂大学 | 日本大学 | 帝京大学 |
| 新潟大学 | 杏林大学 | 群馬大学 |
| 慶應義塾大学 | 東京慈恵会医科大学 | 自治医科大学 |
| 北里大学 | | |